

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会
東雲会京阪神支部会報●創刊号

連絡先 岡田俊一(山脈 12 回)
神戸市垂水区神和台 2-2-9

京阪神東雲

鳥取が気になるこの頃

新聞やテレビで「とっとり」という言葉について目がいく年齢となっていました。当番幹事制度なる突然の召集令状に遭遇し、この地にあって支部の運営に巻き込まれるとは、3年前まで思いもしませんでした。年に一度の総会を開催してきましたが、総会には参加できないけど「ひがし」の卒業生だ!という諸兄姉との絆も深めたく、会報を発行することになりました。年に一度の通信ですが、あの時代と空間を共有した原点を心に留めていただける機会にしていただければ嬉しいです。最初に、京阪神支部創設に寄せて関係者の思いを紹介します。(お)

京阪神東雲会の誕生 上田 二郎 (柏 11)

松浦昇(柏 1・平成 7 年 6 月逝去)先輩が生前次のように話してくれました。

昭和 26 年 9 月京阪神在住の同窓生有志、谷沢進(柏 1)、井戸垣弘光(柏 1)、近藤喜久治(柏 2)、谷千秋(柏 3・逝去)、広岡秀治(柏 3・病気療養中)、吉田登(柏 3・逝去)等の皆様と相談され同窓会の開設について了承され初めて京阪神東雲会が生まれました。以来会の運営その他一切は松浦先輩と奥様のご努力、ご協力により年と共に会員の輪が広がり 15~20 名程度の参加を見ることができました。昭和 35 年当

時松浦先輩から京阪神在住者名簿の作成と会員增加について依頼があり宇野田久子(山 8)さんと苦労して毎年の総会には本部の同窓会会長、校長また担任の先生等を招きどうにか 50~60 名程度の参加社を見るようになりました。

北垣会長(柏 15)のとき野田副会長(山 4)の提案で当番幹事制が実施され、これに伴って総会の参加者が従来の 2 倍位増加し盛会を迎えることができました。

平成 2 年の総会(南のニュージャパン会場のとき)で約 150 名余の参加者があり松浦先輩に連絡したところ病気療養中にもかかわらず奥様が付き添い会場に見え大盛会を涙して喜び、皆様の努力によるものだと感謝感激して帰ら



れましたが、これが松浦先輩との最後の別れになりました。

京阪神東雲会は年とともに徐々に発展し、間もなく 50 周年を迎えることになりますが、諸先輩が燈してくれた東雲会の灯を決して消さないように今後会員各位のご協力により益々発展し盛会が続けられますように期待しております。(顧問)

多感な青春時代の結束

野田 幸生(山4)

この度、京阪神東雲会の会報が発行される運びになりました。当会の隆盛の証であり、大変喜ばしく、編集の岡田さんはじめ関係の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

同窓会は学舎、先生、友人、思い出等を共有する同期会が中心になりますが、当会の総会は柏葉と山脈、戦中、戦後、戦争に関係のない世代等、卒業期、世代を超えて百数十人以上が集まっています。

開校以来の伝統があって、それに共鳴しているわけではありません。同じ学校を卒業し京阪神に居住している以上に、年齢・時代は違っても、全員が人格形成に最も重要な多情・多感な青春時代を送ったという共通項によるものと思います。

今年の当番幹事は山 15 回の皆さんで、大変ご苦労をおかけしますが、幹事を担当することによって、同期生の一体感・結束を強める契機になることを期待しています。

会員の皆さんのが、一人でも多く 11 月の総会にご出席いただき楽しい・有意義な会が持てるよう願いつつ、皆さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。(会長)

我が総会の歩み

上林 武夫(山10)

東雲会京阪神支部総会は、近年でこそ百数十名もの出席者を得て盛況を呈しているが、事ここに至るまでには歴代幹事諸氏の並々ならぬ努力の積み重ねがあったし、かつこの盛況を維持するのも実は容易なことではない。

約 10 年前までは、専ら上田氏のボランティアを頼りに維持されていた総会であったが、山脈会員の出席が思わしくなく、同氏や野田現会長のアイデアにより、当番幹事制(総会運営の幹事を年次毎に担当することとし翌年は一年下の年次に引継いでいく)を採用し、以降その時々の幹事が工夫を重ねながら現在にいたっている。数年前から会員情報のデータベース化

を図り総会案内書類の作成・発送を業者委託したため作業量は減ったものの、収支の心配をはじめ幹事の気苦労は並大抵ではない。

年次をまたがっての当番幹事の引継ぎは、お互い面識の無いことゆえ毎年難渋を極めるが、母校の協力も得て文字どおり問答無用で幹事を押付け就任してもらっているのが実態。最初は嫌々ながら引き受けるものの母校の為と責任感から大抵の人は幹事事業にのめり込む羽目になる。歴代幹事さんに改めてお礼を申し上げたい。

苦労は多いが、総会当番幹事を契機としてその年次の京阪神支部同窓会活動が例外なく盛上がりしていくことがせめてもの慰めであろう。

以上、総会運営の裏話をご紹介した次第。

多くの方が総会に参加されることを期待するとともに、参加されない方も今回ご提案申しあげた年次会費制度にご賛同、ご協力下さるようお願いしたい。(副会長)

歴代総会資料の あとがきから

平成 7 年度(1995)当番幹事・山 12 回

今年は、私たち京阪神地区に居住する者にとって、終生忘ることのできない震災に襲われた年になりました。会員の方々にも、被災されたり無念の思いの中で生を絶たれたりされた方がおられます。

亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、偶然にも運良く生き残った私たちは、生活できる現実に素直に感謝し、精一杯生きていきたいと思います。

さて、今年の総会を担当する当番幹事は、12 回生と 22 回生です。例年なら 2 月には事務の引継ぎがなされるのですが、私の勤務校が避難所になつたり、関係する会員の連絡が取り難くなつたりすることもあって、7 月までずれ込んでしまいました。その後、当番幹事の責任で準備を進めてまいりました。高校時代には、ほとんど交流のなかつた方とも連絡を取り合って今日の日を迎えることができましたのも、同窓の絆があればこそです。

実は、私は京阪神同窓会には過去 3 回しか出席していません。当番幹事の役が回ってこなければ、総会の案内に欠席の返事を出すだけであったと思います。今回、幹事団の一員に加えて

いただき京阪神支部の創設当初のご苦労や総会に参加する会員を増やしていくための諸先輩の心意気を知ることができました。これからも増えていく会員を対象にいかに魅力のある会の運営を行うかが今後の課題です。

今回の会の運営について、心配していただいた早田先生の訃報を聞きました。関係書類を添えて先生に手紙を出す準備をしていただけに、鳥取からの同窓生からの電話には愕然として声が出ませんでした。母校での教職生活を終え、これからは同窓会役員として最後まで東高への情熱を燃やされる場を見つけられたようにお見うけしていただけに本当に残念です。今後とも、母校の発展のために京阪神にいる私たちに何ができるのか考えていきたいと思います。

平成 8 年度(1996)当番幹事・山 13 回

本年、京阪神東雲会に多数の会員が出席していただいたことを感謝します。同窓会本部、そして鳥取から参加していただいた恩師の先生、校長先生、常任幹事の先生、私たちと同期の山脈 13 回の諸君、大変ありがとうございました。昨年は大震災がありましたが、まだその震災の影響が残っている会員の方もいるようです。心より御同情申上げます。そして色々な理由で欠席された会員の方が来年は出席していただけるように心より待っています。会員の方の中には、病に倒れた方もおられます。心より冥福をお祈りいたします。

今年の幹事団は平穏の中で、団結してきました。しかし多くの会員の方々に育てていただきました。ありがとうございました。今回、盛会になりました。次年度はますます盛会になるように期待しています。私たちは微力ですが、次年度も協力したいと思います。会員の方々のますますの発展と健康を祈ります。鳥取県立鳥取東高等学校がますます発展されることを同窓生として念じています。また来年あいましょう！

平成 9 年度(1997)当番幹事・山 14 回

公園のイチョウが黄金色に輝き、小春日和の空を背景にして、手品師によろに鱗片をひらひらと舞い降らせています。

京阪神地区を襲った大震災から、はや三年が経とうとしています。大きな被害を受けた旧神戸市市街地の復興はめざましく三年前が遠い過去のように思えるのは、日本が豊かになった証しかもしれません。それでも、所々に散在する仮設住宅を見て、「ああ、あの震災を語り継げるのは阪神間に住む自分たちなのだ」と心を引き締める昨今です。

さて、今回の総会を担当する当番幹事は、14 期と 24 期ですが、平成 7 年 11 月 25 日(日)朝、岡田先輩から誘いをうけ、一人で参加するより、誰れかとと思い、小学校から高校まで一緒だった同期生に電話をしたところ「倉恒先生が、父母の告別式に参列くださったのに、忙しくてお札の挨拶も出来なかつたので是非参加したい」ということになり、総会当日「飛込み」で二人とも参加させていただきました。

その時、岡田先輩から「平成 9 年度の幹事は 14 期生だから頼むよ」と言われ、二人とも「どうしよう」と顔を見合わせたものでした。昨年は 13 期 23 期が当番幹事だったので、出来るだけ 14 期も声を掛けたところ、20 名近く参加者があり、その中で庶務、会計、幹事等主体的に引き受けてもらい、当番幹事の責任で準備を進めてまいりました。高校時代ほとんど交流のな

かった方とも連絡を取り合って今日の日を迎えることができたのも、同窓の絆があればこそです。

その間、野田会長様を初めとして各回期の先輩からいろいろいろいろご指導、ご支援を賜りました。心より御礼申上げます。今回、幹事団の一員に加えていただき、諸先輩のご苦労や心意気を知ることが出来ました。今回も、約 200 名近くの方に参加をしていただいたわけですが、これからも増えていく会員を対象にいかに魅力ある会の運営を行うかが今後の課題だなあと話し合いました。このことは、次年度 15 期生、25 期生に引継ぎをし、支援していきたいと考えております。

今後とも、母校の発展のために京阪神にいる私たちに何が出来るか考えていこうではありませんか。

写真：母校正面 1p★平成 8 年同窓会総会風景 3p



インターネットで東雲リンクス

東高の卒業生による東高のホームページ「東雲リンクス」が、立ち上りました。最近の話題は、環境問題のからみで、東高祭の伝統的な行事であるシンボルの作成ができなくなったというものです。時代の流れの中で残念ではあります、卒業生のシンボル作成に関する思い出が綴られています。「YAHOO JAPAN」で「鳥取東」を検索しますとこのホームページがヒットします。

シンボル事件の思い出

投稿者：岡田 俊一

投稿日：07 月 10 日(金)

21 時 48 分 14 秒

SHINONOME LINKS

ようこそ『東雲リンクス』へ。当サイトはインターネットを媒体として鳥取東高等学校をキーワードとした在校生、卒業生、教員、父兄の方々との相互交流が広がることを目指しています。

貴方は**000001382**人目のご来訪者です。

Since 1998.04.01

(最終更新日)1998.07.15

高橋慶一さんと、勝原先生の書き込み拝見しました。

シンボルは作成の過程そのものがドラマなのです。まだ、母校では続いていたのですか。大気汚染、環境保護ということですが、生徒達はシンボル作成に意味を感じなくなったのか、物を燃やすということで中止なのか不明

ですが、たとえばシンボルは作成し、廃棄は解体して業者に引き取らせるなどの選択肢はないでしょうか。

私は、兵庫県で教員をしていますが、この4月から、ゴミは分別し回収業者に委託処分しています。今まであった焼却炉は封印をして校内では一切焼却を禁止されています。校内外の大掃除で出る伐採された樹木は1m以下に切り取り運びやすくして括り、日時を決めてクリーンセンターの回収車に引き取りにきてもらっています。他の学校施設も同様です。

鳥取県の場合も、公共機関での焼却禁止という通達に沿っているなら、その状況下でシンボル作成が可能かどうか検討されてはどうでし



98/7/15 「東高祭のシンボル中止へ」
98/6/1 「東高に二学期制導入」
98/5/27 「臨海教育、幕を閉じる」
98/4/12 アクセスカウンターを設置
98/4/9 「東雲同窓生リンク集」を新設

What's new

よう。もし、論議が可能ならば、シンボル作成が高校時代の東高祭の最大の思い出になることを伝えて欲しいものです。

シンボルの思い出 その1

★規定違反の恐竜★

2年の時、恐竜を作りました。裏山から目をつけていた笹竹を切り出し夏休みかかって作製にかかるわけです。熱中しどんとん作品は肥大化しきあがったものは、なかなか見事なものでした。ところが、生徒会で決めた大きさの基準に、長さが違反になりこのままでは、市内行進に参加できないことになりました。尾っぽ

の部分を切り落とすか不参加かもめましたが、生徒議会では、尾っぽを切るのはしのびないなんとか参加させようという事になりました。ところが、議会を仕切っていた3年の議長の某氏は我々のクラスに対し規定違反の謝罪文を生徒議会に出すことを仲裁案で出しました。HRでは「謝罪文」とは何事か!意図的に違反したものではなかったし、謝罪するより恐竜の尾を切って規定通りで行進をしようなどという意見が出て紛糾し間にはさまれて大変でした。結局、文案を工夫し訳明書を出したのですが、議長は「ただいまの文書を議事録に記録する」と宣言され、我々は悔やんだものです。

当日は、恐竜の口の中に駅前で竹輪屋をやっていた級友の商品を仕込み、校庭1周時に原始人にふんした我々が飛び掛かってそれを取り出し食らいつきなかなか好評でした。生徒議会への文案を考えた仲間には、現在の文化庁長官のH氏があり、3年のにっこり(笑)議長氏はその後、東高の教諭になりました。当時は、夏休みに生徒議会をやり、もめるとそのまま公欠扱いで会議をやっていたように思います。おおらかな時代でした。

シンボルの思い出 その2 ★女子を囲い検問突破事件★

3年の時のクラスでは縄文時代の埴輪を作りました。市中行進の時に激しい雨が降り出し

東雲総合リンク集

[URL登録](#)…東雲総合リンク集へのURL登録ができます。Click here!

鳥取東高校	東雲関連	その他のページ
●教員	●東雲同窓生	検索、新聞・雑誌、大学情報
●鳥取県情報	●東雲関係者	素材集、CGI・SSI、JAVA、
●部活動	●東雲父兄	Win95、Mac、UNIX、WinNT、ハードウェア、ソフトウェア、ショップ、最新情報、
●その他	●地域の人々	
	●その他	

Produced by SHINONOME LINKS

No reproduction or republication without written permission.
Copyright 1998 SHINONOME LINKS. All rights reserved.

…、デイコウの性愛ソーシャル・ノシカルト上に男子だけでシンボルの行進を出すことを決めました。我々としてはシンボル作成に女子も一緒にかかわったので、なんとか一緒に参加させたかったのです。で、校門で男子だけを通すためチェックをしている教師の前をシンボルの中にできるだけ女子を詰め込み突破しました。で、街に入ってから女子を外に連れ出しました。シンボル行進が終了後、この情報が他のクラスの女子に伝わり、あるクラスでは教室の内から鍵を閉めて「自分達のクラスの男子はふがいない」と中で泣いておりました。

卒業してからすでに40年近くたとうとしています。それでも、私の東高時代を語るとき、シンボル作成に関わった旧友の顔が甘酸っぱい思い出と共に目に浮かびます。

(カットは東雲リンクスの一画面)

返信葉書の近況報告から

【平成8年度の返信用葉書から柏葉の先輩の方々の返事から抜粋・写真は昭和12年頃の登校風景】

○歩行が困難のため出席不可能(柏葉3／中島藤一) ○二中の同輩が殆ど他界して交遊を深める友達がなく淋しい限りです。(柏葉5／福井(臼井)) ○小生職を離れて6年日々を菜園作業やハイキングで過ごしております。(柏葉6／横木哲三) ○去る8月末小銭屋で卒業60年記念同期の会が開催され久しぶりに参加して回顧談で時間の経つのを忘れました。生存者32名中14名集まりました。(柏葉8／浅田適也) ○会社勤めを退いてから一年余りになりますがお蔭をもって健康に過ごしております。毎月数回のゴルフといろいろのグループの集まりに参加しております。

(柏葉18／佐々尾昭) ○術後の健康保持に努めています。(柏葉5／平井義彦) ○元気でコンサルタントをやっています。11/15-26の間ODAの関連でエジプトへ技術指導に参ります。残念ながら欠席します。(柏葉16／井上重由) ○老母寝たきりの状態です。折角ですので参加したいのですが病状がよくないので欠席させて頂きます。

(柏葉18／山根昭一郎) ○総会の御案内ありがとうございました。阪神大震災で少なからず被害を受けましたが家族全員無事に復興に働いて居ます。皆様よろしく総会の盛会をお祈りします。

(柏葉18／渡邊久也) ○初めて御案内頂き感謝申し上げます。出席したいのは山々ですが本年は震災遺児の育成、献血運動等のライオンズ活動に副会長として微力をつくしております。(柏葉22／木下一郎) ○小人閑居して不善を為す。諸兄の健闘を祈る。(柏葉23／岸本誠一) ○現在教職を退職して、週に4日間働いておりますが、最近疲れがひどく膝や腰痛に悩まされております。お互いに健康管理に充分注意したいものです。

(柏葉24／谷口靖則) ○第二の職場で健康でのんびり気ままに過ごしながら現職時代の過敏な日々を反省しています。(柏葉24／渡辺明)



★京阪神支部名簿発行★

京阪神支部に居住されている会員の皆さんの名簿を総会会場で実費配付します。参加できないが、入手を希望される方は下記の番号を最寄りの郵便局で「電信払込依頼書」に記入し1000円を振込んで下さい。

14460-25683251

加入者名 日野郁子(山脈15回)

★京阪神支部幹事会を8月22日に開催★

総会に向け、15期当番幹事の木梨計三氏以下のメンバーが集まり、最終的な事務打合せをしました。

写真は会議風景



★次期幹事団の総会への呼びかけ★

彼岸花の美しい候、山脈16期の皆様お元気でしょうか。いよいよ、次年度(平成11年)京阪神東雲会総会及び懇親会の当番幹事の年となりました。この会は例年、200名近い参会者のある伝統的な行事です。16期生は昨年も10名以上の参加者がありましたが、次年度のためにも一人でも多くの参加をお願いします。平成11年5月初旬に16期生による旗揚げ同期会も予定しております。35年ぶりに同窓生が集まって思い出を語り合いましょう。(山脈16期幹事団 中井明秋、山本達雄、福永幸枝他)

稻葉山のしば栗のはじける候、山脈17期の京阪神地区の同窓生の皆さんには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。再来年(平成12年)が当番幹事の年です。今年から一人でも多く同期生の参加をお願いします。毎年、17期生は、15人前後集まりますが、京阪神在住者が120人と最も多い学年ですので、大いに盛上げましょう。当番幹事の年には吉田博先生を初め森原先生等々沢山の恩師をご招待する予定です。懐かしい思い出話しに花を咲かせましょう。17期生はグループで同じテーブルに座ります。(山脈17期生幹事団 新井野久男、中村説男、吉田三男、砂川博他)

古代東高 思い出シリーズ

第一回

倉 恒 貞 夫

鳥取東高の恩師を語る時、この先生のことを思い出す同窓生の方々は多いはず。昭和 31 年 4 月から 38 年 3 月と昭和 46 年 4 月退職まで母校の教壇に立たれた。倉恒先生にはその風貌から、我々は、「たわし」なる愛称を奉った。現在も、東雲会本部の副会長としてご活躍中。今回、ぜひにと京阪神支部会報へ寄稿をお願いした。

昭和 24 年 4 月 新制鳥取東高が誕生、発足しました。一中、二中、県立女学校、市立女学校などを、昭和 23 年に一高、二高、三高、市立高と名称を変えていわゆる新制高校(6・3・3 制の 3 で、旧制は、小学校 6 年、中学校 5 年であった)にしたものを、再編成して、鳥取市内は東高、西高の二つに分けてしました。市内の若桜街道を境にして、東側に住んでいる生徒は東高へ、西側に住んでいる生徒は西高へ、元の学校が何であろうが、このどちらかの学校へ行かなければいけないようになりました。又、東高、西高は総合高校で、あとで、東高よりは、鳥農、鳥工、岩美高が分離することになり、又、西高からは、商業が分離しました。西高の夜間や、通信は分かれようがないようですが。

このときの東高普通科生徒数は、1 年生 318 名、

2 年生 210 名、3 年生 92 名(一高より 110 名、二高より 195 名、三高より 145 名、市高より 131 名、他に新制中学より 55 名、合計 620 名。県外からの通学者も多く兵庫県の浜坂、西浜地区から 72 名ありました。1 年生が非常に多く、3 年生の 3 倍以上であったし、又男女の比率もアンバランスで、男子 342 名、女子 277 名でした。

二中の校舎は、終戦のころは、兵隊が入っていて、炊事場や、馬小屋、むしろ張りの便所などがグランドに建てられていて、その名残りが、あちこちに見え、建物の壁などはタールで、迷彩して、汚くよごしてあり、天井から雨の漏るところ、廊下の板をふみ抜きそうなところ、壁の板がはがれて落ちそうなところ、ガラスのこわれた窓… 1 年生は多いので、1 年生だけのホームルームでしたが、2 年、3 年は一緒の混合のホームルームとなりました。しかし、この日まで男女七歳にして席を同じくすべからず、という教育を受けて来た我々です。又、五日制で教育課程は自由選択制。

自分の授業の時間割を勝手に作り、授業の教室を時間毎に移動して勉強する(民族の大移動と称していましたが、学年を解いて同じ授業を受けることもありました)のです。中に「ブランク」と称する時間をつくって、勝手に遊んだりもしました。グランド周辺の桜は太い枝を地面まで垂らし、グランドはクローバーが一面に生えていました。生徒会活動、臨海学校、文化祭、校内大会… これから始まります。

写真は平成 8 年度京阪神支部総会出席の先生



東校データバンク

生徒数 平成10年の学校要覧によれば普通科全学年で男子609人女子587人合計1,196人。各学年とも10クラスで30クラスの大規模校。このほか、専攻科として2クラス101人で構成されている。文化部は21部で全体の加入率は23%、運動部は17部で加入率は60%である。**身体発育状況** 平成9年度について全国平均と比較したもの。高校3年の男子の平均身長は172.8cmと随分と長身になっている。

	性別	男 子		
		1 5	1 6	1 7
身長 (cm)	全国	168.5	170.0	170.9
	東高	169.3	168.4	172.8
体重 (kg)	全国	59.7	61.5	62.9
	東高	58.6	62.0	61.4
座高 (cm)	全国	89.9	90.7	91.3
	東高	90.3	92.6	92.2
	性別	女 子		
		1 5	1 6	1 7
身長 (cm)	全国	157.4	157.9	158.0
	東高	158.0	158.3	158.3
体重 (kg)	全国	52.0	53.0	52.9
	東高	51.6	52.3	51.9
座高 (cm)	全国	85.1	85.2	85.2
	東高	85.2	85.6	84.8



進学合格者 平成10年の3月の結果は国公立155人、私立388人、短大101人、各種専



門学校79人の合計延数723人。就職は5人。
校舎と敷地 二中時代にあった独特の形状をした体育館はすぐになく当時の屋根に拭かれた銅は正門の校名の銅板になっている。

活発な運動部に応じてもとのグランドの1.7倍の大きさを持つ第二グランドがJR山陰線を隔てて本校舎から200mの位置にある。校舎は全て鉄筋校舎に建てかわり体育館が二つ、憩いの森、自習室、トレーニングジムなどができる。校門の前も整備され、食堂、研修館、同窓会館などを挟んで県道まで直線の立派な道路が整備されている。
行事 一年は二泊三日の東浜の『臨海教育』、二年は『冬季高原合宿』として氷ノ山でスキー合宿。全校で盛上がるのが『東高祭』。県民会館での弁論・合唱大会、模擬店、体育大会と三日間が盛上がる。写真：校内にある記念碑

編集後記 ★ささやかではありますが、京阪神東雲会の会報をお届けします。今のところ、毎年開催されます11月の総会案内と共に同封させていただく予定にしておりますが、会員諸兄姉の投稿をお待ちしております。内容は、同期会の案内、母校の思い出、近況など提案も含め気楽にお書きください。原稿は、1pの連絡先か、e-mailをお持ちの方は、sdi00397@nifty.ne.jpにメールを入れてください。★会報の題字は、当会顧問の上田先輩にお願いしました。今後も我々の相談相手になっていただけようにお願いいたします★京阪神支部の運営費として年次会費カンパとして一口1000円をお願いしております。京阪神の同窓会員も2300人に上り、総会の案内費用などに使用するものです。会費振込は郵便振込口座番号00900-0-85765、加入者名京阪神東雲会。払込人住所と共に卒業年次を山12というようにお書きください。(係)